

# はなわ 議会だより

2022  
No.159

発行／福島県塙町議会  
令和4年7月15日



目指せ！よい歯でステキな笑顔  
はなわこども園 虫歯予防教室

6 月定例会

定例会のあらまし…………… P 2～5  
町政を問う（一般質問）…………… P 6～17  
役場新庁舎計画～これまでの経緯…………… P 19  
委員会＆追跡レポート…………… P 20～21



塙町議会ホームページ  
QR



塙町議会フェイスブック  
QR



塙町議会ツイッター  
QR

# エール商品券(町民一人25000円)を含む補正予算等を可決

一般会計2億6764万円を補正増額

6月  
のし  
の会  
例定  
あ



6月

のし  
の会  
例定  
あ

6月定例会は、6月9日(木)から14日(火)までの会期で開催しました。

専決処分5件、条例関係2件、計画の変更1件、補正予算3件、予算繰越報告1件、法人経営状況報告1件が上程され、いずれも原案どおり承認・可決されました。また、6月13日に議員発議1件、14日に契約の締結1件が追加議案として提出され、どちらも原案どおり可決されました。なお、一般質問は11名の議員が登壇し、町政の課題について議論を展開しました。

【主な内容】

- ◆商品券交付金 2億660万円  
国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、3回目となる埴町エール商品券事業を実施する。事業により、町内の経済循環を生み出すことが目的。町民1人25000円分の交付を予定。交付時期は、コロナ感染状況や各物価価格等を考慮して決定していく。
- ◆湯遊ランドはなわ観光施設整備交付金 132万円  
町への寄付金により整備された湯遊ランドはなわの天文台について、コロナ禍により2年程度稼働されなかったため、機器の交換等が必要のため。また、振興公社職員が簡単に操作できる環境をつくるため、望遠鏡制御用パソコンの導入をするもの。
- ◆低所得の子育て世帯生活支援特別給付金 500万円  
新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、失業や収入減少等にある低所得の子育て世帯を支援する観点から、特別給付金を支給する。
- ◆道の駅の空調設備改修工事費 1800万円  
空調設備改修工事費の増額。当初確保していた工事費が不足すると見込まれたため。空調設備のほか、災害対応バルクタンクを整備する。
- ◆被災住宅修理支援補助金 100万円  
令和4年福島県沖地震において、災害救助法に基づく住宅応急修理制度の対象とならない小規模・準半壊に至らない被害が生じた世帯に対して、県独自の支援事業を財源として補助金を交付する。
- ◆埴中学校体育館屋根修繕工事費 128万円  
中学校体育館について、直近の雨漏り状況により屋根の一部に早急な修繕対応が必要となったことから、八面ある屋根のうち雨漏りの著しい一面の修繕を実施する。

## 質疑

### 補正予算

**Q** 商品券交付金は、生活支援か経済支援どちらの考えで行うのか。  
**A** 町内の経済を循環させる意味でも両方を兼ねる。  
**Q** 商品券はいつ生まれた子どもから対象になるのか。  
**A** 基準日はこれから設ける。  
**Q** 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金の対象世帯は。

**A** 児童扶養手当の受給者に対しては県で支給する。町ではそれ以外の令和4年分の住民税の均等割が非課税の子育て世帯へ給付する。給付額は子ども1人当たり5万円で100人を想定している。  
**Q** コミュニティ助成事業補助金の内容は。  
**A** 宝くじ助成金であり、昨年植田区からLED関係の申請があり、3月に助成金の決定を受け補助するもの。

**Q** 中山間地農業ルネッサンス推進事業委託料の事業内容効果と増額の理由。  
**A** 花卉類のアジアでの販路拡大のため、市場や消費者動向調査を実施しニーズを踏まえた花卉類の導入・増産を検討するとともに、鮮度の維持、輸送コスト削減につながる出荷箱を製作し、梱包についてもさまざまな方法を試みながら輸送試験を実施していくもの。県の補助金が増額になったため追加で補正する。全額県からの補助金を活用する。

**Q** 道の駅の空調設備改修工事費について、当初予算に計上があり今回追加になるが内容は。  
**A** 当初予算では概算見積の額で積算したものであり、その後詳細設計変更等により増額となった。主な増額の内容は、機械設備・電気設備の工事である。なお、災害時バルク補助金がこの工事に係る予算である。

**Q** 河川堆積土砂撤去工事費の場所は。  
**A** 令和2年度より5カ年計画で実施するもので、今年度は緊急を要する箇所ということで片貝川の五升時<sup>ごせき</sup>地内。

**Q** 被災住宅修理支援補助金の増額理由と町民への周知方法は。  
**A** 令和4年3月16日の地震で住宅の被害認定を受けた世帯に対しての補助。上下水道の配管などが対象で、20万円以上の修理をした場合に1世帯10万円の補助であり、今後対応するための増額補正。IP告知放送や広報はなわ等で周知を図っていく。

**Q** 向ヶ岡公園の桜根系調査委託料の内容は。  
**A** 県指定文化財の向ヶ岡公園のサクラは樹齢200年以上である。令和2年度に行った樹木診断報告書には、最終腐食率75%で不健全な状態と診断されている。亀裂も多く倒木の危険性もあるため、緊急な処置が必要である。今回、土壌中における根の形態等

を把握することで、サクラから近い位置にある石碑付近の根の分布等を把握することで石碑を移動する際にサクラの根を傷つけないようにする。根系調査は2日間で8名で行う予定。

### 予算繰越

**Q** 湯遊ランドはなわ施設管理事業の繰越内容と完了時期は。  
**A** 地下ピット内・温泉の配管部分等の改修工事。完了予定は令和4年8月だが、資材等の納入状況によっては変更契約になる場合もある。

**Q** こども園施設運営管理事業の繰越理由は。  
**A** こども園の駐車場敷地が不足しているため、隣接する土地1050平方メートルほどの土地を購入し駐車場敷地を整備する計画をしていたが、法律に基づく県との手続きに時間がかかったため繰越事業となった。



# 議案等の審議結果一覧表

承認	承認第3号	専決処分（専決第3号） 【令和3年度埴町一般会計補正予算（第7号）】
	地方自治法第179条第1項の規定により町長が専決処分を行ったため、議会へ報告するもの。額の確定による歳入補正や、歳出予算の不用額の整理および減債基金積立金の増額。	
	承認第4号	専決処分（専決第4号） 【令和3年度埴町農業集落排水処理事業特別会計補正予算（第4号）】
	地方自治法第179条第1項の規定により町長が専決処分を行ったため、議会へ報告するもの。工事費等歳出予算の不用額の整理。	
	承認第5号	専決処分（専決第5号） 【令和3年度埴町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）】
	地方自治法第179条第1項の規定により町長が専決処分を行ったため、議会へ報告するもの。工事費等歳出予算の不用額の整理。	
	承認第6号	専決処分（専決第7号） 【埴町税条例等の一部を改正する条例の制定】
地方自治法第179条第1項の規定により町長が専決処分を行ったため、議会へ報告するもの。住宅借入金等特別税額控除についての措置等。令和4年4月1日から施行。		
原案可決	承認第7号	専決処分（専決第8号） 【埴町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定】
	地方自治法第179条第1項の規定により町長が専決処分を行ったため、議会へ報告するもの。基礎額に係る課税限度額を65万円に引き上げ（現行63万円）など。令和4年4月1日から施行。	
	議案第24号	埴町放課後児童健全育成事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定
保護者からの要望等による学期中のおやつ提供の取り止めに伴い、おやつ代相当分の額の減額。令和4年4月1日から適用。		
議案第25号	埴町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	
令和4年度国民健康保険税を賦課するため、必要額から税を算定するに際し、按分率の改正が必要なことによる。		
議案第26号	埴町辺地総合整備計画の変更	
田代辺地、湯岐辺地および片貝辺地の内容変更。		

原案可決	議案第27号	令和4年度埴町一般会計補正予算（第1号）
	歳入歳出それぞれ2億6764万4千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ66億4953万2千円とするもの。	
	議案第28号	令和4年度埴町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
	歳入歳出それぞれ2051万1千円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ9億3150万3千円とするもの。	
報告	議案第29号	令和4年度埴町介護保険特別会計補正予算（第1号）
	歳入歳出それぞれ264万円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ12億155万8千円とするもの。	
	議案第30号	工事請負契約の締結
一級町道川上東河内線の道路改良工事を指名競争入札により契約するもので、契約金は5280万円。契約の相手方は、深谷建設株式会社 代表取締役 深谷佳孝。		
報告	報告第1号	令和3年度埴町繰越明許費繰越計算書
	一般会計、戸籍住民基本台帳事業ほか計17事業について、繰越限度額5億558万7千円のうち3億8256万9千円を令和4年度に繰り越して執行するもの。	
原案可決	報告第2号	法人の経営状況
	地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、白河地方土地開発公社の令和3年度経営状況を議会へ報告するもの。	
原案可決	発議第1号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書
	議員発議による意見書。令和5年10月にインボイス制度が導入予定となっているが、センターにとってその影響が極めて大きく、制度の適用除外とする等の措置の要望。	

## モデル世帯から見る国保税負担

<ケース>

- ・夫45歳(世帯主) 事業収入：300万円(所得192万円)
- ・妻42歳(専業主婦)
- ・子18歳(高校生)

	令和4年度	令和3年度	比較
税額	303,705円	330,554円	26,849円減

**Q** 今回の改正で昨年度よりは税額が減額になっているが、近隣町村との比較検討はしたのか。モデル世帯算定資料があるが、内容について変更の検討が必要ではないか。

**A** 昨年度の税率等を参考に、町民の負担が少なくなるように調整している。モデル世帯については以前からの条件で作成していたため、今後検討していく。

## 国保税条例一部改正

## 追加議案

### 工事請負契約の締結

◆道路改良工事・一級町道川上東河内線（常世中野宇雨谷地内外）

5280万円

J A東西しらかわ東部営業センターから渡良瀬川を越えて、常豊簡易郵便局前の国道289号線を結ぶ道路改良事業。平成27年度から事業に着手し、今年度で事業完了となる。国道289号線と県道赤坂東野埴線の十字路交差点については、国道との交差点協議において右折レーンの幅員を確保しているが、県公安委員会との協議で当面信号機が設置されない交差点となるため、右折レーン部分をゼブラゾーンで表示するように指示されている。なお、将来信号機が設置された場合の右折レーンに対応している。



改良工事が進む町道川上東河内線（八幡側から撮影）

## 質疑

- Q** 街路灯の設置数は。
  - A** 案内標識も含め、設計業者と協議中である。
- Q** いつ頃開通できるのか。
  - A** 工期は令和5年1月27日であり、完成後開通する。



## 議員発議

「シルバー人材センターに対する支援を求める意見書」の提出

シルバー人材センターは、高齢者の社会参加を促進し、生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化などに貢献している。令和5年10月に、消費税において適格請求書等保存方式、いわゆるインボイス制度が導入されると、簡易課税制度が利用できなくなり、その影響は極めて大きく、センターの会員への配分金については、制度の適用除外とする等の措置を講ずるよう要望する意見書。

（提出先は、内閣総理大臣ほか衆参両議長、財務、厚生労働、経済産業の各大臣）

●意見書：地方議会の意見を国の施策に反映させるために、政府や国会に提出する文書のこと。地方自治法第99条で定められており、本会議に諮って提出する。



<p>P7</p>  <p>ふじた かずお 藤田 一男議員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなバス停設置</li> <li>・健診結果の通知</li> </ul>	<p>P8</p>  <p>かなざわ たろう 金澤 太郎議員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エール商品券</li> <li>・大型遊具を配した公園整備</li> <li>・公務員の副業解除</li> <li>・各世代向け予算執行</li> <li>・シェアハウス利活用</li> </ul>	<p>P9</p>  <p>きくち てつや 菊地 哲也議員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども第三の居場所事業</li> <li>・病児保育</li> <li>・役場新庁舎建設</li> <li>・副町長不在</li> </ul>
<p>P10</p>  <p>すずき しげる 鈴木 茂議員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅の健全経営</li> <li>・新庁舎建設</li> </ul>	<p>P11</p>  <p>よしだ ひろあき 吉田 広明議員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの支援事業および継続的な支援対策</li> <li>・ネオニコチノイド系農薬</li> </ul>	<p><b>一般質問とは</b></p> <p>議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会により掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成しています。</p> <p>一般質問用QRコード</p>  <p>スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。</p>
<p>P12</p>  <p>あおと ようぞう 青砥 與藏議員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援</li> <li>・在宅型介護支援</li> <li>・個人所得向上の考え</li> </ul>	<p>P13</p>  <p>ななみや ひろき 七宮 広樹議員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄倉庫誘致活動</li> <li>・自転車活用の町づくり</li> <li>・公民館本館のあり方</li> <li>・分野に精通した人材採用の考え</li> </ul>	
<p>P14</p>  <p>よしむら もりひろ 吉村 守広議員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎建設</li> <li>・JR埴駅周辺の対策</li> <li>・移住定住</li> </ul>	<p>P15</p>  <p>よしだ かつのり 吉田 克則議員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町づくりと施策の考え</li> <li>・太陽光発電施設</li> <li>・給付金誤振り込み町の対策</li> </ul>	
<p>P16</p>  <p>しもじゅう よしと 下重 義人議員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町発注委託業務</li> <li>・埴工高統合後の在り方</li> <li>・農家の担い手不足</li> </ul>	<p>P17</p>  <p>すずき もとひさ 鈴木 元久議員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の保険加入</li> <li>・3回目ワクチン接種状況</li> <li>・I P 電話</li> </ul>	



ふじた かずお  
藤田 一男議員

町民のため  
議員はもっと勉強を

## 健診結果の通知を早く届けてほしい できるだけ早くお届けできるように努力する

**質問** 健診結果の通知が約2カ月かかるが、もっと早くならないのか。

**答弁** 健診は県保健衛生協会に業務を委託している。結核や肺がんなどは2人の医師がチェックしているため、町へ結果が送付されるのは5〜6週間後になる。その後、町で内容を精査したうえで送付するため、皆さまに届くのはそれからさらに1週間ほどかかる。ご理解いただきたい。

なお、重要と思われる方へは早めに連絡している。



昨年の集団健診

### 町議会ホームページ 議会の様子(一般質問)を視聴できます

「埴町ホームページ」→「埴町議会」→「議会中継」をクリックすると動画を視聴できます。  
※議会終了後、2〜3週間後の配信になります。

※その他の質疑は、「会議録」をクリックしご覧ください。





かなざわ たらう 議員 金澤 太郎

景気の回復を望む

# エール商品券補正予算に至った理由は

## 家計・地域経済の一助とすべく一人25000円の補正を提案

質問

答弁

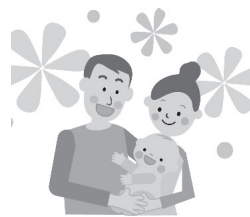
【質問】物価高騰下で必要と考へ通告したが、補正予算が上程されたので上程理由を伺う。  
【答弁】物価高騰の中、全町民の家計・地元事業者の応援のため、議員の同意をいただき、10月ごろの事業と考へている。  
国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に若干財政調整基金を活用し補正を組んだ。町財政に影響を及ぼすものではなく、本事業により町民の税金が上がることはない。

大型遊具を配した公園整備は必要・自然環境を生かした公園計画を検討していく  
【質問】子どものため、大型遊具を配した町外の公園に向いてしまふ。大型遊具を配した公園整備の考へはあるか伺う。  
【答弁】ぜひ欲しい施設である。自然環境を生かしつつ、最大限町の魅力をアピールできるような検討を加えていく。  
【質問】高校生向け奨学金充実の考へがあるか伺う。  
【答弁】令和5年度から高校の特定を外し、増額する方向で検討する。  
【質問】塙スマイルアプリにメール一斉同報サービス(Cocomail)を統合し、利便性を向上する考へを伺う。  
【答弁】グループ設定機能の有無で即統合は難しいが、利便性の高いアプリであり、統合を検討していく。  
【質問】子育て支援施策を横断的に担当する課等の設置の考へを伺う。  
【答弁】横断的な対応は必要。子ども家庭庁の方針で、専門課を新設するなどし子どもと家庭を守る要請があり、町も検討をする。  
【質問】塙スマイルアプリとは母子手帳の機能を補完するスマホアプリ。予防接種時期や、町通知をプッシュ型で送信する機能を持ったアプリ。  
【答弁】塙スマイルアプリとは母子手帳の機能を補完するスマホアプリ。予防接種時期や、町通知をプッシュ型で送信する機能を持ったアプリ。

### シェアハウス(高齢者等共同住宅)利活用の検討状況は

#### 複数課で活用に向け具体策を進めている

【質問】問い合わせ、内見後に利用に至らない状況を伺う。  
【答弁】1件は転出してしまった。他は、問い合わせ後返答がない。  
【質問】布団持ち込みが条件。レンタル業者の紹介は可能か伺う。  
【答弁】紹介は可能。事業者による貸出可能の確認も取れている。  
【質問】高齢者以外での活用の具体的施策を伺う。  
【答弁】健康福祉課 非常時に個室が必要な方向けの一時滞在での利用。  
【答弁】まち振興課 学生・自転車プロチーム等の合宿利用。移住定住等の宿泊体験。  
【答弁】農林推進課 新規就農希望者のお試し居住。農業体験ツアーでの宿泊。



声を上げられない世代向け予算執行を急ぐことは  
適時を逃さず、早期発注を目指している  
【質問】予算執行の優先順位に基準があるか伺う。  
【答弁】特に優先順位の基準はないが、各事業の必要性・緊急性に応じ実施。国県の補助事業の場合は、2次補正の必要性から急ぐ事業もある。受益者の迷惑にならないことを重視。

質問 答弁

## 子ども第三の居場所事業は議会に対し説明すべきでは

### 説明する機会を持ちたい

【質問】5月5日の新聞に子ども第三の居場所事業が掲載されたが、3月定例会閉会後の経過は。  
【答弁】事務事業調整会議で建設地を町所有の代官所跡地隣接地に決定し、B&G財団による視察・ヒアリングを受け、その後、設計業務委託契約を結び、令和5年度より運営開始を目指す。  
【質問】教育、子育て施策での重要課題は。  
【答弁】この町をしっかりと守っていく子どもをつくらせていきたい。さまざまな環境の子どもたちが、目標を持って生活できるように第三の居場所事業で育てていきたい。  
【質問】さまざまな事情により、本当に困っている子どもこそがそういう場所に行けないのでは。

【答弁】各課と連携し、一人も取り残さないという思いで利用を促していく。  
【質問】年間1000万円の財源は。  
【答弁】町の負担にならないように、国・県の補助金等を確認していきたい。  
【質問】今後この事業の内容がある程度決まった時点において、議会に対し説明をすべきではないか。  
【答弁】議会に説明し意見をいただき、子どもたちにとって一番良い方法を考へていきたい。



きくち てつや 議員 菊地 哲也

子ども食堂が大人のための食堂にならないよう



将来を担う子どもたち

経済情勢を受け、庁舎建設の着工先送りは先送りは考へていない  
【質問】緊急保全事業に着工の期限、起債の限度額はあるか。  
【答弁】ない。  
【質問】返済は次世代への先送りの5年据え置きをやめ、完成した年に支払を始めるべきでは。  
【答弁】5年据え置きの際に、防災センター、中学校、給食センターの償還がほぼ完了する。その後庁舎の返済が始まるので町の負担が少ない。

### 副町長不在、地方自治法161条の解釈は

#### 現状はそぐわないと考へる。しかし不在の期間は定められてはいない

【質問】町長の考へは。  
【答弁】自分の町づくり、行政運営の本旨を理解してくれる人、そしてその責務を共に背負ってくれる人を選びたい。  
【質問】地方自治法161条とは。  
【答弁】市町村に副市町村長を置く。ただし、条例で置かないことができる。

### 病児保育の整備が必要では

#### 保護者には関心の高い事案と認識

【質問】体調が悪くなつた児童を、病院やこども園等で一時的に保育する病児保育を塙町でも整備すべきでは。  
【答弁】過去に塙厚生病院に打診したが難しい。しかし、現在の状況でよいとは考へていない。こども園に保健師を配属しているが、今後、さらに4町村との連携も含め検討していきたい。



鈴木 茂 議員

道の駅は道の玄関口  
みんなで盛り上げよう

## 町は道の駅の健全経営を 図るべきではないか

### 町として人事、経営に介入せず 自助努力を願う、支援は検討したい

**質問** 2年連続赤字経営と聞くが本当か伺う。

**答弁** 令和2年・3年共赤字経営となった。

**質問** 赤字の要因はどのようなことか。

**答弁** コロナ禍により人流が抑制され、また都市交流もできず外販事業もできなかった。

**質問** 地方自治法第92条に規定され兼業の禁止に触れる、町議員が道の駅の理事長であることは問題であると思われるが伺う。

**答弁** 指定管理料や修繕費は施設の管理費であり、営利的な取引ではないので問題ない。

**質問** 抜け道はいろいろあるが、町民に対して後ろめたさはないのか。理事長に辞任の要請をすべきではないか。

**答弁** 町として関与しない。

**質問** 売上アップに生産資材を補助してはどうか。

**答弁** 効率的で効果のある支援をしたい。

**質問** 利益アップのため仕入れ販売をしてはどうか。

**答弁** 理事会や出荷者に判断していただく。



新鮮な野菜が並ぶ道の駅直売所

## 新庁舎の建設費はどのようになるのか

### 設計図面変更により圧縮する

**質問** 最近の物価高により庁舎建設費が高くなるのではないか。

**答弁** 設計図面の補正により外壁、床面積、天井高、屋根の形状変更をした。それにより経費を圧縮する。

**質問** 今後のスケジュールはどのようになるのか。

**答弁** 7月の月上旬に議会に案を説明し、理解を得られれば臨時議会を開催したい。

**質問** 入札不調になったり、入札しても建築返上になったりしないのか。

**答弁** その可能性はあるが粛々と進めたい。

### その他の質問

**質問** 台風の大雨に対する町内対策がどのように行われたか。

**答弁** 釜藤から下流、伊香堰から上流、松岡橋から下流の土砂の撤去はほぼ完了した。川上川の桜木橋下の土砂の撤去・掘削もまもなく終了する。(その他、各担当課長より詳細についての説明あり)

### 質問

## 埴小学校の入学児童が 郡内で一番多い

### 答弁

## 増加した要因は、町外 から8世帯転入した

**質問** 今年度、埴小学校の入学児童数が、郡内で一番多く増加したと聞いているが伺う。

**答弁** 過去5年間は、毎年50名程度の入学者数だったが、61名の入学があった。郡内8校の中で一番多かった。

**質問** 給食費の無料化について、保護者の声を聞いていれば伺う。

**答弁** 無償化に対する苦情は一切聞いていない。年間約5万円の支出がなくなり、子育て支援につながっており、好意的に受け止められていると思う。生産体制を含め、安全な食材を子どもたちに供給したい。

## チャイルドケアラーは、小学生の 6・5%が潜在的にいる

### 要保護児童対策地域協議会でも 対応する

**質問** こども園や学校教育課に、健康福祉課の職員が新たに配属された目的を伺う。

**答弁** 支援の必要な子どもたちが増加傾向にあり、定期的、迅速なケアの対応をするため、令和4年度から学校教育課、こども園に保健師の資格職員、各1名を配置した。新型コロナウイルス感染症対策にも対応できている。

**質問** チャイルドケアラーの定義が定まっていれば伺う。

**答弁** 法定的定義はないが、一般的に「本来、大人が担うと想定されている、家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」とされている。

**質問** 小学生の6・5%が、潜在的に家族の世話をしているとき

れている。貧困状態に陥りやすいとの懸念から、各自治体も対応を進めているが伺う。

**答弁** 家庭の実情をさらすことになるため、表面化しにくい。配属された保健師と連携を図りながら、実態把握に努め、迅速な対応をしたい。

**質問** 学校で使われているタブレットにメールソフトの導入などで相談を受け付ければ、速やかな対応や解決ができると思うが、可能なのか伺う。

**答弁** 検討を含め、対応の準備を進めている。

**「要保護児童対策地域協議会」とは、健康福祉課、学校教育課、幼小中職員、警察、児童相談所などで構成する組織。**



「蜂群崩壊症候群」とされる蜂箱

## ネオニコチノイドを含む農薬は、 浸透移行性、残効性、神経毒性がある ネオニコチノイド系の散布補助金を 今年度から中止する

**質問** ミツバチ被害の問題、生態系および人体への影響で、自閉症や注意欠如多動性障害(ADHD)の増加があるといわれ、文科省は、小中学生の6・5%が発達障害の可能性があると発表したが伺う。

**答弁** 関係性があることを確認している。人間の脳への影響も懸念されている。

**質問** 第四次環境基本計画や環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書においても、「環境影響が懸念していることで、問題が発生すれば、長期間にわたる極めて深刻な影響をもたらす可能性がある」といわれている。化学的証拠が不明確なことを理由に、対策を遅らせず「予防原則」を伺う。

**答弁** 安全な農産物を供給する大義がある。代議士や県の関係機関に働き掛けたい。



吉田 広明 議員

子供の支援は、  
まちづくり

## 一般質問

## 一般質問



青砥 与蔵 議員

見様見真似

在宅型介護支援の町長の考えは

健康教室などを進め、支援していく

【質問】フィンランドといえば「社会福祉が充実している」というイメージが強いが、速いスピードで高齢化が進んでいる。自立志向が強く、在宅介護の方がお金がかからないという点もあり、施設から在宅で生活するケースが増えている。以前、町長が在宅型介護を支援したい旨を言っていたが、町長の考えを伺う。

【答弁】 町のお達者年齢が女性98歳、男性85歳と健康寿命を延ばし、行政サービス支援の方向も変わると思う。健康教室・サロンなど今後も進めていく。また、在宅介護支援していきたい。

【質問】フィンランドの介護士は社会的地位や収入が高く安定しており、人気の高い職業となっている。慢性的な

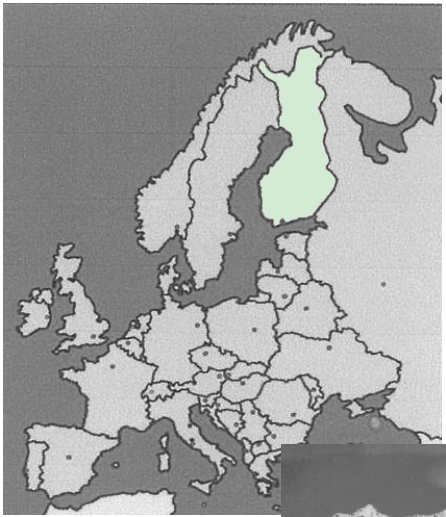
【答弁】 時代とともに価値観が変わっている。役割・目的が確立した組織化が求められている。担当課・事務事業調整会議などでも検討していく。

【質問】在宅介護を支えるためには、山間地の公共交通の確保だと思

【答弁】 令和4年度、県公共交通活性化事業の対象になり、現在申請中である。決定次第、計画どおり、事業を9月をめどに進めていく。来年2月事業認可申請、4月スタートを予定している。

【質問】フィンランドは「ヨーロッパのシリコンバレー」と呼ばれて

【答弁】 林業・道の駅など既存の事業を活用して、町内生産金の還流を拡大して対応していきたい。



世界幸福度ランキング1位「フィンランド」



子育て支援の考えは

町全体で見守る

質問

答弁

【質問】国連が発表する「世界幸福度ランキング」で5年連続1位に選ばれたフィンランドは、女性のほとんどがフルタイムで働き、社会全体が子どもの誕生を歓迎し、切れ目のない子育て支援を行って世界中で注目を集めている。

【答弁】 子育ては人類元々本能的に集団で守っている。「子どもたちを町全体で見守る」ことは、行政の基本だろうと考える。

【質問】 子育ては人類元々本能的に集団で守っている。「子どもたちを町全体で見守る」ことは、行政の基本だろうと考える。

質問

防災協定締結先(葛飾区・練馬区)に備蓄倉庫誘致活動を

答弁

ぜひ、話をしていきたい

【質問】 東京都は首都直下地震被害想定を10年ぶりに見直したが、防災協定を結ぶ葛飾区・練馬区に対し、埴町に米や災害時用の食品を確保する、備蓄倉庫を誘致する考えは。

【答弁】 現時点では両区からの申し出もなく、誘致の話は進めていないが、ぜひ話をしていきたい。

【質問】 勿来インターまでの国道289号も、道路改良工事が着々と進み、那倉地区までの所要時間は、25分弱で到着することができ

【質問】 勿来インターまでの国道289号も、道路改良工事が着々と進み、那倉地区までの所要時間は、25分弱で到着することができ

【答弁】 埴町の防災拠点(常豊地区運動場)の整備を進めながら、提案の構想もからめ、国・県へ話ができればと思っています。



内堀知事が埴町を視察しました(令和4年5月12日)

自転車を活用した町づくりでしか体験できない「特別な場所づくり」を

一歩ずつ確実に前に進めていく

【質問】 町民の熱が今ひとつ感じられないが、どのように町民意識を高めていくのか。

【答弁】 目に見える形で自転車活用推進の成果が、町民の中にも出てくるものと考えている。

【質問】 健康維持を意識したライフスタイルをおくる町民に、自転車活用に特化した取り組みや計画は。

【答弁】 県民運動と連携した、健康チャレンジ応援事業を実施している。また令和5年度からエビデンスに基づき、町民健康づくりに寄与するプログラムづくりに着手する。

【質問】 埴町の自然と山を活かした、マウンテンバイク用のオフロードコース開設の考えは。

【答弁】 町内の自然を生かした、アウトドアスポーツとサイクリングが楽しめる、コースづくりも考えていきたい。



七宮 広樹 議員

誰かのために生きるのみ、生きる価値がある



もりひろ 守広 議員  
よしむら 吉村

庁舎建設は  
適正な予算で

## 新庁舎建設に至った判断の経緯は

### 国の「市町村役場機能緊急保全事業」が該当するから

質問

答弁

**質問** 新庁舎建設に至った判断の経緯を伺う。

**答弁** 築52年経過で耐震工事をしていないため、耐震工事をするため平成29年度から振興計画に計上したが、経費が8億くらいかかることがわかり、建て替えるも検討した。その結果、国の「市町村役場機能緊急保全事業」が該当することが確認された。通常、庁舎建設は自己資金で行わなければならないが、時限立法のこの事業で起債をおこし、分割払いが可能となり、財政負担

が軽減できるため、緊急ではあったが建て替えるとする方針に決定した。  
**質問** 「公募型プロポーザル」について、概算予算は。  
**答弁** 13億6千万円で、この中には本体工事、外構工事、関連施設工事、解体工事を含む。コロナ禍やロシアウクライナ問題等で、諸物価高騰の影響があるが、この金額くらいで実施したい。

**答弁** 公共施設なのでZEB Readyについては、取り組みたいが、そうすると工費が上がる。一方で全体的な工費の圧縮をしなければならず、省エネ技術の導入と補助金とのバランスを検討して結論を出す。なお、6月中には工費の積算を終了し、7月には概算予算の説明をする予定。



新庁舎（上から見た外観イメージ）

### 小規模住宅と住宅用地の無償譲渡政策は町外からの移住者への取り組みを進めたい

**質問** 移住者のターゲットを若者に絞り、「木の町はなわ」の特色を生かして、木造の安価な小規模住宅をモデルルーム的に建築し、移住者に提供してはどうか。さらに、数年後には、その土地を無償譲渡する政策は。  
**答弁** 少子高齢化による人口減少に歯止めをかけるため、町外からの移住者を受け入れることは、有効な手段になる。ぜひ検討してみたい。

**質問** 駅東側の老朽化した空き家は、倒壊や火災等の危険性があり、近隣住民に被害が及ぶ前に対策は。  
**答弁** 現在、町での個人への対処はできないが、増加する空き家に対し、解体工事費の助成制度も検討する。

### JR埴駅周辺の空き家対策は解体工事費の助成制度も検討

質問

## 町づくりの基本的な考えは

答弁

## 次世代へ引き継いでいく

**質問** 町長の町づくりと施策についての考えは。

**答弁** この町を確実に次世代へ引き継いでいくこと、大切な役割を果たしていく、町民の日々の生活の安寧のために行政に努めることが基本と考える。

かの助成があっても良いのではないかと話をしている。小児科の確保、福島医大・厚生連へ何度もお願ひしている。  
**質問** IP告知システム高年齢者世帯等の使用料は。  
**答弁** 減免措置の該当者のリストアップ等を進め、町のほうで積極的にアピールしたい。

**質問** 町有施設の管理のあり方を計画的に進めるべきと思うが。  
**答弁** 基本的には計画がベースになるべきと思う。その時代に即応した方法、そして必要な物を選択していく。公共施設等管理計画は見直しをして新しい計画ができていく。

**質問** 町長肝いりの行政改革の進捗状況は。  
**答弁** 行政改革は終わりがあるものではないと考えている。常に、これを念頭に事務執行にあたるのが基本である。  
**質問** 管理職人事の考え方は。  
**答弁** 人事管理の基本は管理能力があるかどうか。管理職としての責任の重さを痛感してもらいたい。

### 太陽光発電施設の設置は許可土地利用関連の届け出が必要

**質問** 大規模太陽光発電施設工事と町の関わりは。  
**答弁** 1ヘクタールを超える山林に太陽光発電施設等を設置する場合、森林法により県知事の林地開発許可が必要となる。災害防止のため

### 給付金誤振り込みの対策は

### 事務処理通知を出した

**質問** 給付金誤振り込みが社会的問題になったが、町の未然防止は。  
**答弁** 今回の件を受けて、町では総務課長名で各課等の長に支出決定の手続き等について事務処理通知を出した。



よしだ かつのり 吉田 議員

税金の使い道、公平公正でなければと、つい発言が多くなる



「減免措置があるIP告知システム」





しもじゅう よしと 議員 下重 義人

物価は上昇、米は安値

## 町発注の委託業務の選定基準とは

### 統一的な基準等は設けていない

質問

答弁

**質問** 委託業務を発注する際、どのような基準の下で選定を行っているのか。

**答弁** 町としての統一的な選定基準等は設けていないが、効率性を重視し工事等指名委員会などで、審査を行い業者を選定している。

**質問** 委託の職種によって資格の確認は行っているのか。

**答弁** 事前に事業者等から入札契約等参加申請を受け付け2年に一度、資格や技術等の確認を行っている。

**質問** 委託業務での事故事例の報告、また事故後の対応は。

**答弁** 事故等の報告は把握していない。また、事故の対応は基本的には受託業者等の責任での対応となっている。



町発注業務の草刈り作業

## 埴工業高校統合後の在り方は卒業まで現校舎での授業を実施

**質問** 県立高校改革の前期実施計画終了後の在り方は。

**答弁** 現在の埴工業高校2年生および1年生は、令和5年度より白河実業高校生となり、授業の実施場所は、卒業まで現埴工業高校校舎での対応となる。

## 農家の担い手不足の対応は就農者に寄り添った支援を



**質問** 県は本年度から農繁期の担い手確保に着手するところだが本町の対応は。

**答弁** 県とJA福島中央会および8団体で、『新規就農者等担い手の確保・育成に向けた連携に関する協定』を締結し情報共有しながら就農者に寄り添った伴走支援を目指す。

**質問** 農業資材高騰のなか米価は安価のままである。今後の各農家への支援は。

**答弁** これから先、5年、10年と見据えた農業を考えていくためにも、あらゆる情報収集と提供を密にと考える。

質問

## 町所有の自転車の保険加入状況は

答弁

### T Sマーク付帯保険に加入している

**質問** 4月1日から県が自転車保険を義務化した。町全体での加入率は。

**答弁** 町では調査していない。県のアンケート調査では49・7%加入、条例改定後のアンケートで44・3%加入している。

**質問** 自転車の各種大会に参加する町内外の保険は。

**答弁** イベント保険は入れているが、インターネットの予約などで、今後は個人的に自転車保険の加入を促していただき、大会の参加を促す考えをしている。

**質問** 中学生の自転車通学はいるか。また、何名か。

**答弁** 入学当時、1年生20名、2年生17名、3年生18名、合計55名。夏季だけのみの利用者が多い。平日は10名程度。ヘルメットは町より支給している。

**質問** 保険の加入はどのようになっているか。

**答弁** 保護者が対応で周知はしている。また、再度保険加入を呼び掛ける。

**質問** 13歳未満の児童・園児には、自転車に乗るときはヘルメットの着用努力義務となっている。笹原地区では、半額の補助を出すようである。その他の地区はどのようになっているか。

**答弁** 助成の対応はない。ヘルメット着用は、平成24年1月より全員着用義務となっている。

**質問** 今後、保険の加入を促す考えはないか。町ではどのように考えているか。

**答弁** 高額賠償になる場合があるので、自転車の保険は現在あまり浸透していないため、今後、広報紙やIP電話等で加入を呼び掛ける。

### 134件ある。希望者で無理に勧めない

IP電話が設置されていない家庭はあるか。また、今後どのようにするのか。

**質問** 緊急時はどのようにするのか。

**答弁** 当初は3600円で現在は3300円一括納付。いろいろと経費がかかるので、無料の考えはない。非課税世帯等の減免もいるのか。また、無料にする考えはないのか。



すずき もとひさ 議員 鈴木 元久

万が一に備えて



T Sマーク

一般質問

一般質問

# ひとことインタビュー

令和4年6月定例会の傍聴者へインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



埴町商工会女性部

## 傍聴したきっかけは

今年度の女性部活動の一つとして計画したところ、「久しぶりに傍聴しました」という部員さんや「議会傍聴という内容を知りたかったの」と初めて傍聴する部員さんもいました。

## 傍聴した感想は

「各議員の方が、町行政に関わるさまざまな問題にいろいろな視点から一問一答、真剣に対応されていた。議会だよりで拝読していましたが、事細かに答弁を繰り返し対応している様子は、その場においてじかに感じ考えさせられました。」

多くの課題に意見を出し合い、より良い町づくりと施策を期待！

## 議会に対する意見や要望

「今回は、日程を先に決めた傍聴でしたが、質問内容が早めに分かると関心のある質問事項を選定して傍聴できたと思う」「同じ質問なら関連事項とし、一括質問した方が時間短縮となり何回も受け答えをしなくても済むのではないかと」「商店街に関する質問が取り上げられなかったので、

自分に置き換えて、踏み込んで聞いてみたいと思うこともありました」「初めてでしたが、とても興味深く傍聴させていただきました」「議員の質問や答の内容も良く聞き取れました」「引き込まれて傍聴していました」等の感想がありました。

## 町に対する意見や要望

「産業祭が廃止となり、それに代わる商工業を盛り上げるイベントがほしい」「人口減少・少子高齢化等多くの課題に意見を出し合い、より良い町づくりと施策を期待します」「教育や子育ては議会での質問も多かったが、高齢者、一人暮らしのことで、自由に集まり運動ができる場所があったら良いですね」との意見・要望がありました。

# 役場新庁舎計画——これまでの経緯

議会だよりモニターのほか多くの町民から「新庁舎計画の経緯を知りたい」との声が届いていますので、これまでの議会関連の経緯を掲載します

## 全員協議会

令和2年10月14日  
町より役場庁舎についての説明を受ける。現庁舎の状況、改修の課題、改修ではなく改築とした場合の基本的な考え方など。

## 令和2年12月定例会

令和2年度一般会計補正予算において、「庁舎改築実施設計業務委託料1億356万2千円」の議案提出があり可決する。改修、改築について検討を行っているところだが、改築となった場合には起債申請等の手続きのため予算化が必要のため計上。国の有利な財源である「市町村役場機能緊急保全事業（令和2年度で申請受付終了）」を活用し改築することが、町および町民にとって、財政負担軽減や住民サービス、

災害への対応等これからの町にとって最良の選択との説明を受ける。

## 全員協議会

令和3年1月8日  
町より説明を受ける。整備検討委員会の開催内容や工事費など。改修の場合は、工事費が約7億6千万円で町単独財源（基金）は約6億6千万円。改築の場合は、工事費が約15億5千万円で町単独財源（基金）は約2億8千6百万円。

## 令和3年2月17日

町長より「庁舎改築」としての方針を決定したと説明を受ける。

## 令和3年8月27日

町より、庁舎設計について平面図等により説明を受ける。

## 令和3年9月9日

町のほか設計業者が同席

のうえ開催し、設計についての説明を受ける。

## 行政視察を実施

令和3年11月4日～5日  
総務および経済常任委員会合同行政視察研修を実施。桑折町、大熊町の庁舎を視察。

## 広報はなわ1月号

新庁舎の概要（外観イメージ案等）が掲載される。

## 全員協議会

令和4年1月19日  
町より庁舎建設基本設計概要についての説明を受ける。

## 令和4年2月17日

町より、庁舎建設の概算事業費が約28億円であるとの説明を受ける。提示額は最大限の額であり、今後内容を精査し少しでも削減し

ていくとのこと。

## 令和4年3月22日

町より、工程表・今後のスケジュール等についての説明を受ける。各議員から総事業費の削減を求める意見が出る。

## 令和4年3月定例会

令和4年度一般会計当初予算において、「庁舎敷地（役場駐車場の国有地部分）購入費4100万円」の議案提出があり可決する。

## 令和4年6月定例会

町長が、一般質問に対し「3月定例会の後に、受託者、関係課長、担当者同席のもと私も同席し、当初に指示した金額を厳守すべく徹底した精査をするよう厳しく指示をしたところである。現在縮減に向けて作業中との報告を受けている。6月末には内容を精査した金額が設計業者より提示されるので、その後議会に説明をする」と答弁。



役場新庁舎イメージ

# 追跡レポート

## あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

### コロナワクチン接種の進捗状況は 令和3年6月定例会

接種が始まったが、その後の現在の状況はどうなっているか。

答弁

### 令和3年6月10日現在、1384人が接種済み

65歳以上の方3669人中2834人の申し込みで、令和3年6月10日現在で1384人が1回目の接種を終了している。

その後

### 令和4年6月8日現在で65歳以上は2898人、18歳以上65歳未満は3181人、18歳未満は62人が3回目接種を終了

令和4年6月定例会

3回目の集団接種は令和4年1月29日から開始し、令和4年4月19日に終了。未接種者については、各医療機関において個別接種の対応をしている。  
4回目接種は、7月16日ごろから9月中旬までを予定している。



### 消防庁長官通知の進捗状況は 令和3年12月定例会

団員確保を目的とした消防庁長官通知の埴町における進捗状況は。

答弁

### 郡内4町村で統一

郡内4町村で足並みをそろえることで合意。団員報酬、出動報酬は検討中。

その後

### 条例を改正 令和4年3月定例会

団員報酬、出動報酬、出動区分を新たに決め、災害時の出動人員を正確に把握し、報酬は個人口座へ振り込みとする。



## 所管事務調査レポート

### 総務常任委員会

#### IP告知システム・地上デジタル再送信システムの現状と今後の計画

- ・調査日 令和4年4月28日(木)
- ・調査所 委員会室および現地(埴町情報センター)
- ・出席委員 下重義人委員長  
ほか委員全員 (計7名)

・調査のまとめ  
(1) IP告知システムの現状と今後の計画

IP告知システムは、平成21年度の国庫補助事業を活用し、町内全域に光ケーブルを敷設して高速インターネット環境が整備され、平成23年度よりサービスを開始した。令和3年度総事業費6億7900万円で端末の更新とクラウド化を実施した。クラウド化により、スマートフォンでも町からのお知らせや緊急放送の内容が閲覧できるようになった。財源は、緊急防災・減災対策債を活用し、費用負担割合は、埴町6割、矢祭町4割。使用料は年間3300円、端末機器は無償貸与、加入率は8割、非課税世帯・高齢者世帯・障害

者手帳所持者には減免制度がある。将来的には、スマートフォンやタブレット端末で受信可能なシステムを目指す。

(2) 地上デジタル再送信システムの現状と今後の計画  
平成23年7月に、アナログからデジタル放送に移行することで、放送を受信できなくなる難視聴世帯解消のため、光ケーブル敷設と並行して運営を開始した。

事業費1300万円、333世帯や事業所で利用されている。使用料は年間4500円、今後も難視聴の解消に努めるとしている。

埴町情報センターは、水害を考えると不安がある施設であり、移設すべきと考える。



### 経済常任委員会

#### ネオニコチノイド系農薬の取扱いと町道北野松岡線改良工事等

- ・調査日 令和4年5月13日(金)
- ・調査所 委員会室および現地(町道北野松岡線)
- ・出席委員 七宮広樹委員長  
ほか委員全員 (計6名)

・調査のまとめ  
(1) ネオニコチノイド系農薬



の取扱い  
ネオニコチノイド系農薬(殺虫剤)は、カメムシ防除効果と、使いやすさから多用されるが、日本ミツバチの帰巢本能に与える影響、昆虫・鳥類の激減など環境影響が大きいこと、発達障害や自閉症との関連性の報告もあることから使用を問題視されている。

薬剤散布委託の補助対象から、同系統剤を除外することになったが、代替技術の情報収集、技術伝達をJAなどと強く図るべき。

別途、カブトエビ水稲除草の紹介を受けたが、今後の活用を期待する。

(2) 町道北野松岡線改良工事等  
国道接続交差点に信号機設置無し、令和8年度供用開始予定と、東白衛生組合への取り付け道路として水郡線に沿った新側道の事業開始に向けた協議が進行している。側道は、4町村で事業費を含め協議が持たれるようだが、同組合への道路は狭く、安全通行に資する側道事業もぜひ整備すべきである。

# ～議会だよりモニターに8名の方を委嘱しました～

今後1年間議会広報や広聴関係でお世話になります

藤田 隆美さん	東河内 小野亜希子さん	常世中野 倉片 功さん	湯岐 鈴木 彩乃さん	上 町
金澤 誠司さん	植 田 大縄いづみさん	本 町 大友 康子さん	台 宿 渡邊 雅男さん	川 上

## 議会だよりモニターさんの声

### 1. 表紙および裏表紙

- ・しっかりとしたまなざしで前を見据える新一年生に希望を感じた。
- ・「会員が得する勉強会の開催」より「勉強会による知識の向上」とした方がよかったのでは。

### 2. 後期の議会体制、3月定例会

- ・抱負を拝見し、各議員さんの意気込みを感じた。
- ・予算がどのようなものに、どれだけ使われているか、まとめられていて良いと思う。
- ・一般会計のおもな使いみちが写真と金額で示されていて分かりやすかった。

### 3. 一般質問ページ

- ・今、町が抱えている問題を分かりやすくつくられている。新庁舎に関わる質問が

前回4月22日発行の議会だより158号に対する声を掲載します。

多くあり、町民としても関心が高いと思う。

- ・新庁舎の計画については、議会だよりでも進捗をのせて町民が納得していけるようにしてほしい。
- ・とても興味深く拝見した。町にある問題に対し、私たちももっと関心を持たなければならないと感じさせられる。

### 4. その他

- ・湯遊ランドの件について、モニターの意見の掲載があったが、モニターの声が届いていることを実感した。
- ・子どもや若い方向けのページ（議会・議員・町政について分かりやすく簡単な言葉で紹介する等）があるのも良いのではないか。

## 私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。



藤田 隆美さん (東河内)

### 持続可能な埴町

自然が豊かで農業と林業が主な産業である埴町。ここは今まで過疎の町としてさまざまな議論と対策がなされてきました。全国では、もっとも過疎の深い刻な市町村がたくさんあります。経済の規模を中心に考えると、人口の多い都市

部にはかないません。しかし、中山間地域である埴町には素晴らしいものがあります。四季の景観と人材です。「木々が一斉に芽吹く春、動植物が命を輝かせる夏、黄金色の稲穂が風になびく秋、積雪の少ない冬」恵まれた景観の中で、町民が快適に生活できるように、議員ひとりひとりがそれぞれの思いを込め議論を積み重ねながら、経済・社会・環境の三つの側面でのバランスのとれた持続可能な埴町（SDG）を目指して活躍されることを期待しております。



小野亜希子さん (常世中野)

### 住んでいる町を知ること

議会モニターも3年目にまりました。おかげさまで日々の生活の中に町を知ることへの意識がつけられたように思います。「地域らしさ」

や「地域の魅力」は失われてほしくないと思いますし、地域の文化を守ってきつてくれた人たちのリスペクトは重要だと思えます。埴町の地域資源を見つけながら、これからは議会だよりを通じて町の未来を一緒に考えていきたいです。町民に親しまれる議会だよりをこれからも期待しています。

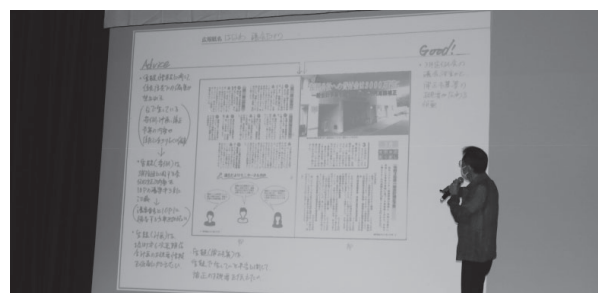


## 読まれる紙面づくりを目指して

### 町村議会広報研修会に参加

福島県町村議会議長会主催の町村議会広報研修会が6月30日(木)、とうほう・みんなの文化センター(福島市)で行われ、広報常任委員6名が参加しました。講師のグラフィックデザイナー、長岡光弘氏による講義および議会広報紙(7紙)のクリニックがありました。

はなわ議会だより158号もクリニックを受け、良い点・改善点などを指摘していただきました。今後も町民視点の読まれる紙面づくりを目指し、議会広報紙の役割を果たしていきます。



### 議会活動出欠状況

令和4年4月1日 ~ 6月30日

年月日	会 議 名 称	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
4.4.4	総務常任委員会(正副委員長互選及び所管事務調査について)	-	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○	-
4.4.4	経済常任委員会(正副委員長互選及び所管事務調査について)	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	○
4.4.4	広報常任委員会(正副委員長互選)	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
4.4.4	予算決算常任委員会(正副委員長互選)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
4.4.4	議会運営委員会(正副委員長互選)	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	○	○
4.4.4	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
4.4.14	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
4.4.28	総務常任委員会(所管事務調査)	-	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○	-
4.5.13	経済常任委員会(所管事務調査)	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	○
4.6.1	議会運営委員会(6月定例会運営)	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○
4.6.9	6月定例会(1日目:議案説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.6.9	全員協議会(「シルバー人材センターに対する支援を求める意見書」提出について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.6.9	総務常任委員会(閉会中審査内容決定)	-	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○	-
4.6.9	経済常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	○
4.6.9	広報常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
4.6.10	6月定例会(2日目:一般質問6名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.6.13	6月定例会(3日目:一般質問5名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.6.14	議会運営委員会(追加議案)	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	○	○	○
4.6.14	6月定例会(最終日:議案審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.6.14	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.6.14	議会運営委員会(議会の検証)	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	-	○
4.6.29	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
4.6.30	町村議会広報研修会(福島県町村議会議長会主催)	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-

○出席 - 該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀(忌引)、病気・けが(傷病)、突発的事故(事故)、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：埴町竹活用推進協議会

事務局：道の駅はなわ内

TEL：44-0123

## 環境に配慮した先進的な取り組みを進めています

平成28年から団体創設7年目を迎え、竹活用の取り組みを進めています。

国の地方創生交付金(平成28年)を活用し、竹パウダーの製造と農産物のブランド化に取り組む団体として創設。ブランド化PR事業、都市交流事業、パイプハウス補助などを実施してきました。現在は、コロナ禍で、アンテナショップの販売は休止中ですが、町内の増え過ぎた竹林の伐採や、副産物としての竹を竹パウダーに加工し、土壌改良材として使用するなど、環境への配慮にも取り組んでいます。竹パウダーは、年間約2000袋を製造し、農業生産者の竹パウダー使用農産物は、道の駅で販売をするなどの取り組みを行っています。需要の少ない梅雨の期間は草刈り作業な

どもしています。

「竹は伐採後、3～4年で元に戻ってしまうので、伐採後の維持管理が大切です」と話していました。

竹伐採にお困りの方は、事務局へご連絡ください。



竹伐採作業

### 編集後記

広報常任委員会は新体制になり3カ月が経ちました。6月30日、町村議会広報研修会に参加し、議会だより作成について学び見識を深めてきたところです。

議会だよりを多くの町民に読んでいただき、議会のあり方や事業内容をご理解いただき、そして、皆さまのご意見を、議会改革につなげていきます。

(追伸)

青砥 與藏

議会だよりの表紙QRコードから、またはインターネット埴町議会からも資料・動画を配信していますのでご覧いただけます。ぜひともご利用ください。



### 広報常任委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
金澤	鈴木	吉村	吉田	菊地	青砥
太郎	元久	守広	広明	哲也	與藏

## あなたも議会を傍聴してみませんか

次回9月定例会は9月8日(木)からの予定です。

場所 役場2階 議場

(傍聴時は感染症予防の観点からマスク着用をお願いします)

